

# CSR活動の考え方

NTT西日本グループでは、「今一度、CSR活動について考える」をキーワードに、コンプライアンスを基本(前提)とした「NTT西日本グループCSR活動の3つの柱」を構築・実践し、CSR活動を推進しています。

## 「西日本スピリッツ」を原点に

「西日本スピリッツ」は、NTT西日本の創業時に、企業理念として策定し、NTT西日本グループとしての使命・社会的役割・目標、行動指針および行動規範を明示しているものであり、CSR活動をはじめとした会社の根幹となるものと考えています。

## CSR活動の3つの柱を重視して

NTT西日本グループのCSRは、創業時に策定した企業理念「西日本スピリッツ」をベースに、活動の原点となる「コンプライアンスの徹底」を第一に、2つめには社会から期待される「安心・安全な社会づくり」、3つめには「事業を通じた価値創造」を3つの柱としてさまざまな活動を推進し、持続可能な社会の発展に貢献します。

## CSR活動「見える化」指標

活動の柱	テーマ	指標名	主な取り組み実績
コンプライアンスの徹底	法令遵守と情報管理の徹底	他事業者さま情報管理の徹底	全社員を対象にお客さま情報保護研修やコンプライアンス研修の実施、各種点検の実施など発生件数の抑制に向けた仕組みの推進や社員意識の醸成に取り組みましたが、広告物の不当表示、他事業者さま情報管理を除き、発生の根絶には至りませんでした
		飲酒運転の根絶	
		広告物の不当表示の根絶	
		お客さま情報の漏えい等の根絶	
		企業の信用失墜につながる行為等の根絶	
		コンプライアンス等全社員研修の実施	
SO法会社テストの有効完了	内部統制に関わる監査を99.9%実施		
安心・安全な社会づくり	お客さま・地域社会への安心・安全	ウィズ カスタマー活動による改善	お客さまの声をもとに各種改善に取り組みしました(詳細はP16を参照)
		KAIZEN活動への取り組み	約7.9万件の改善提案など積極的なKAIZEN活動に取り組み、優良事例を水平展開しました
		高品質で安定した通信サービスの確保	24時間、365日、サービスの継続に向け、万全の仕組みや体制の構築、サービス品質向上に取り組みました
		設備110番への取り組み	事故の未然防止に向けて、不安全設備を早期発見・解消に取り組みしました
	社員への安心・安全	地域に密着した災害復旧への取り組み	地震を想定した初動等訓練、自衛隊との協働による通信確保訓練など各種災害復旧訓練を実施し、災害発生の際、早期復旧に取り組みしました
		労働災害の根絶	労働災害の未然防止に向け、作業環境の改善、安全講習会など各種安全対策を積極的に展開し、安全意識の醸成、基本動作の徹底に取り組みしました
		ハラスメントの根絶に向けた取り組み	企業風土の確立に向け、全社員研修などを通じて意識の醸成に取り組みしました

### NTTグループCSR憲章

#### CSRメッセージ

私たちNTTグループは、情報通信産業の責任ある担い手として、最高のサービスと信頼を提供し、「コミュニケーション」を通じて、人と社会と地球がつながる安心・安全で豊かな社会の実現に貢献します。

#### CSRテーマ

##### 人と社会のコミュニケーション

1 私たちは、より豊かで便利なコミュニケーション環境を実現するとともに、情報通信技術を活用し、人口減少・高齢化社会におけるさまざまな課題解決に貢献します。

##### 人と地球のコミュニケーション

2 私たちは、自らの環境負荷を低減し、地球にやさしいコミュニケーション環境を構築するとともに、情報通信サービスの提供を通じて社会全体の環境負荷低減に取り組みます。

##### 安心・安全なコミュニケーション

3 私たちは、情報セキュリティの確保や通信の利用に関する社会的な課題に真摯に取り組み、安心・安全な利用環境と新しいコミュニケーション文化の創造・発展に尽くします。

4 私たちは、社会を支え生活を守る重要なインフラとして、災害時にも強い情報通信サービスの提供に努め、いつでも、どこでも、だれとでもつながる安心と信頼を提供します。

##### チームNTTのコミュニケーション

5 私たちは、「チームNTT」として、高い倫理観と人権意識を持って事業に取り組み、働きやすい職場環境の整備や個の成長・多様性の尊重に努めるとともに豊かな地域社会づくりを推進し、社会的使命を果たして行きます。

※ チームNTTは、派遣社員・契約社員も含めたNTTグループで働く社員、パートナーの皆さま、NTTグループのCSRに賛同する退職した方々で構成されています。

### 西日本スピリッツ

#### 西日本スピリッツ

1. [主体] 私たちNTT西日本グループは  
2. [闘う武器] 技術と知恵で  
3. [闘うフィールド] 世界に広がる情報流通の  
4. [めざす状態・目標] エクセレントカンパニーをめざします

#### 行動指針

- 【お客さま第一】 「姿勢」はお客さま第一  
【個】 「原点」は「個」の自立  
【知恵】 「使うべき」は知恵  
【コミュニケーション】 「推進力」はコミュニケーション  
【革新】 「成長」は日々革新  
【プロフェッショナル】 「めざす」はプロフェッショナル

#### 行動規範

- 【1】 お客さまへ 私たちは、お客さまのプライバシーを尊重して、お客さまの情報を責任を持って管理し、また、お客さまに対して、誠意を持って対応します。
- 【2】 株 主へ 私たちは、株主の期待に応えられるように、信頼される会計手続に基づき、経営状況を適時・適切に公開します。
- 【3】 取引先へ 私たちは、取引先の選定は価格・品質・サービス等を基準に行い、取引先と誠実に対応します。
- 【4】 社員として 私たちは、情報流通を業とする立場として、法律と会社のルールを遵守し、人権を尊重します。
- 【5】 社会の中で 私たちは、地域社会の一員として、常に環境問題に配慮して、社会への貢献に努めます。

### CSR活動の3つの柱



- 企業倫理の保持
- 情報セキュリティの推進
- 消費者保護
- 人権尊重
- 通信サービスの徹底・維持
- 円滑な災害復旧
- 安全労働の推進
- 良質なサービスの提供
- ICT活用社会の実現
- 環境保護
- 文化財保護
- 社会貢献
- ダイバーシティ

3つの柱に対応した取り組みとして、下図のとおりNTT西日本グループにおけるCSR活動「見える化」指標を策定し、その指標に基づき、社員一人ひとりがCSR活動に日々取り組んでいます。

また、社内ホームページへ取り組み実績などを掲載し、社員への「見える化」を図っています。

活動の柱	テーマ	指標名	主な取り組み実績
事業を通じた価値創造	環境経営の推進	通信機器のリユース・リサイクル	お客さまが利用された通信機器を回収・再生し、廃棄物の削減に取り組みしました
		電力使用量の抑制	設備の統廃合・効率化、エコオフィスの推進などにより電力使用量の抑制に取り組みしました(総電力使用量20.84億kWh)
		事務用紙使用量の削減	ペーパーレス会議の推進などの実施により紙使用量のCO <sub>2</sub> 削減に取り組みしました*
		社用車における環境負荷低減	燃料の前年度比1%改善に取り組みしました(燃料:3.7%改善)
		NTT西日本グループのサービス提供を通じた社会への環境負荷低減	フレッツ光サービスの販売拡大ならびに、SI商品等の販売拡大
		産業廃棄物最終処分量の抑制	オフィス内におけるリユース、リサイクルの推進および環境に配慮した優良な処分業者への委託の推進
	地域との共生	障がい者雇用の推進	積極的な雇用促進、離職防止施策の充実に取り組みました(障がい者雇用率1.95%)
		地域イベント・ボランティア活動等への参加	清掃活動など地域イベント・ボランティア活動などへ積極的に参加(活動参加率99.9%)
		ICT活用社会への貢献	ICT活用社会への貢献に向けた各種ソリューションサービスなどのお客さま提案活動を積極的に推進
		保有文化財(歴史的建物等)の保護	歴史的価値の高い建物などの保存、有効利活用の推進に取り組みしました
ワーク・ライフ・バランスダイバーシティ	育児・介護休職職場復帰プログラム実施	出産休暇、育児休暇、介護休職を取得中の社員に対する職場復帰プログラムを実施(実施率100%)	
	在宅勤務の推進	在宅勤務を積極的に推進	
	グループ会社採用(中途)の推進	グループ会社採用(中途)の推進	

\* 一人あたり事務用紙使用量前年比10%減(CO<sub>2</sub>削減量前年比6%減)

\* 2013年3月末実績